



## OB会長挨拶

新緑の候 OB 会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は OB 会の運営にあたり多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。



昨年4月の会長就任に当たり、重点的に取り組む課題として「OB会の若返り」と「現役強化」を掲げましたが、この一年はこれら課題を具体的な施策に結び付けることに力を注いで参りました。

まず、「OB会の若返り」ですが、複数名の平成年代を常任幹事へ登用し、若い世代の意見を取り入れながら事業運営を進めて参りました。

その結果、予想以上に幹事会の活性化が図られ、成果も着々と上がってきております。その一つとして、OB 会員相互の親睦の場であるゴルフ会が挙げられます。若手幹事を中心とした運営により、ゴルフ会が春・秋の年二回に拡大され、新たな試みとして春の大会(5月16日に開催いたしました)では各組に1名の現役が入りラウンドを行いました。

これにより、ゴルフ会は本来の目的に加え、現役との交流の場となると共に、参加した OB が今の立教ゴルフの力を知る良い機会を提供できたものと思っております。

今後もゴルフ会は年二回開催されますので、これまで参加されていない会員におかれましても、是非とも秋の大会へのご参加をお待ちいたしております。

次に「現役強化」について申し上げます。

今年2月、タイ王国ナライヒル・ゴルフリゾートにて15日間にわたる男女合同合宿を実施いたしました。

2月は授業がなく、また対抗戦に向けて現在メインである春合宿の直前に当たるため、長期合宿を行うに最適な時期ですが、一方で関東地方は厳冬期に当たり降雪も予想されることから、かねてより現役から海外の温暖な地での長期合宿の要望が出ておりました。

海外における長期合宿は、リスク管理や効果的な運営方法、さらには学生ゴルフの在り方など解決しなければならない課題があるため、幹事会にて検討いたしておりましたが、今回は監督・コーチ・若手幹事による現地視察や強化カリキュラムの作成などサポート態勢が整ったこと、さらには全日程 OB の同行が可能となったため、実施するに至ったものです。

詳細は、監督からの報告を御覧いただきたいと存じますが、ゴルフ漬けの毎日は現役部員にとって得難い経験になった事に違いなく、今後の成果に繋がるものと確信致しております。

また、現役強化に欠かせない練習場の建設につきましては、未だ具体化には至っておりませんが、大学側と定期的な折衝を重ねており、早い時期に実現できるよう継続して取り組んで参る所存でございます。

引き続きOB会員各位のご支援をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、OB 会員ならびにご家族の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。

OB会長 菅 真知(昭和45年卒)

平成27年度立教大学体育会ゴルフ部OB会会報 目次	
OB会長挨拶	1
ゴルフ部長挨拶「立教らしさ」	3
平成26年度対抗戦を振り返って	4
平成26年度競技会結果	7
平成26年度体育会ゴルフ部幹部挨拶	10
平成27年度体育会ゴルフ部幹部挨拶	11
平成26年度OB会ゴルフ会 報告	12
立教大学体育会OB・OGクラブゴルフ大会	13
第36回関東八大学対抗戦	14
第13回 立教対抗戦	15
立教小学校におけるスナッグゴルフ 活動報告	16
長期タイ合宿 総括レポート	17
平成27年度OB会総会 報告	18
OB会事務局からお知らせ	20

## 立教らしさ

これまで場違いを承知でしばしばマクロの経済論などもテーマにしてきましたが、定年も迫り本欄に載せて頂くのも残り2回となりました。

今回は出来の悪い非OB教員による立教論です。

我が家は「本社」移転に伴う転勤（国替に随行）で少なくとも1640年から代々今の南海沿線住まい。又、東京での我が前歴も本学OBの少ない政策金融の分野でありました。それ故、たまに役所の委員会等で池袋の先生と同席する以外、2000年の着任迄は立教とのご縁は殆どありませんでした。敢えて申せば、かつて、入社面接等で尊敬する人物を問われた際、必ず杉浦忠投手（昭33経）と答えていた点が接点として挙げられるでしょうか。



今でも、廊下の窓から野球部の練習風景が見える新座の研究室で、ゼミ生相手に彼にまつわるエピソードを話すことがあります。心変わりする同僚がある中、約束通り南海に入団した律儀さ、シーズン38勝4敗・シリーズ4連投4連勝の偉業、偉業達成時の台詞：「一人で泣きたい」の床しさ、酷使による右腕動脈閉塞にも首脳陣批判を一切口にしなかった節度、身売りされ福岡に動く際のファンへの監督挨拶の締め括り：「行って参ります」、そして、OB野球遠征中での急死などなどです。彼らに言わせると終わりの方の我がしゃべくりは涙声に近いそうです。確かに、「行って参ります」に込められた同氏の南海球団と大阪球場へ深い愛着やダメと知りつつ帰りを願うファンへの優しい配慮を語るあたりで自らの言葉に酔い、年甲斐もなく感傷的になっているかもしれません。

立教論の筈が杉浦論になりつつありますが、実は、同氏のイメージと立教のイメージとは私の意識の中で結構重なっています。又、授業に招くゲスト講師からは、他所と比べ私語も揚げ足取りもなく知的な雰囲気の中で気持ちよく講義が出来るといった感想をよく耳にします。

立教にはこうした内面から来る感じのよさがあります。これは、勝負強さとは無関係に良きゴルファーに求められる重要な資質であり、良き社会人にも望まれる要素です。OB・OGの方々には当たり前すぎて灯台下暗しかもしれませんが、お世話になって15年余り、私はこの点が他校には真似の出来ぬ「立教らしさ」の最たるものであり、良き伝統、入学者の資質・姿勢、そして教職員の意識・努力の賜物だと感じています。

今期は男子Cブロック、女子Bブロックからのスタートです。伝統を担う良き後輩ゴルファー達への応援、そして懸案の練習場問題への支援、宜しくお願い申し上げます。

体育会ゴルフ部長 田代 泰久 教授

## 平成26年度対抗戦を振り返って



監督 青木 克益(昭和 63 年)

[春季男子Cブロック対抗戦] 5月20日～21日 万木城カントリークラブ

昨年度の秋季対抗戦では7年ぶりの好成績でCブロック3位となり、レギュラーも抜けることなく残っていることから、他大学からも前季の実績からみて立教は優勝候補の一角ではないか、という声が上がっていました。

しかしながら、春季の対抗戦というのは高校時代に活躍したジュニアゴルファーがどの大学に入るかによってレベルが急激に変化することから、蓋を開けてみないとわからない難しさがあります。加えて、私としてはそれまでの部員達の合宿等のスコアや会場である万木城のアップダウンの多さ、またOBも随所にあることから、予想以上に苦戦するだろうと危機感をもって臨んでいました。

試合が始まってみると予想通りの苦しい状況となり、所謂セクション行っている上位5校と行っていない下位3校に分かれる形となりました。特に学習院大学と6位同ストロークの402で初日は並び、最終日に勝った方が残留、負けた方がDブロック降格となる厳しい戦いとなりました。

明けた最終日、本校が頑張ったというより学習院大学が予想以上に崩れ、助けられた感じで6位残留を決めることとなりました。

この対抗戦を振り返り、本校の選手は厳しいセッティングである会場に負けてしまったと言わざるを得ません。難易度の高いコースに気持ち的にも技術的にも負けてしまい、秋季に向け課題を残した春季対抗戦でありました。



主将三崎（4年）のティーショット



春季男子対抗戦 レギュラー8名

[春季女子Cブロック対抗戦] 6月4日～5日 フレンドシップカントリークラブ

女子は昨年行われた秋季Dブロック対抗戦で優勝したことにより、今回はCブロックでのスタートとなりました。女子のCブロックは男子と異なり、6校参加で優勝がBブロック昇格、6位がDブロック降格となる戦いです。

さて、試合の方は、初日が終わり4位青山学院大学、5位立教、6位大妻女子大学でスコアによる差もほとんどなく、厳しい降格争いの中、この3校が同じ組で最終日にラウンドすることとなりました。

結果は、青山学院大学、大妻女子大学の両校に負け、降格を覚悟してレストランで呆然としながら上位校がホールアウトするときを待っていたところ、昨日2位であった学習院大学が大きくスコアを崩しているという情報が入ってきました。全選手がホールアウトして、何度計算しても本校が1ストローク勝ってい

る計算です。その後、1ストローク差5位残留となったことが確定し、その瞬間、昨日より10ストロークも悪くホールアウトし、責任を感じていた女子主将である鈴木が泣き崩れる場面がそこにはありました。喜びや悲しみといった単純な涙ではなく、伝統校として降格のプレッシャーから解放された安堵や複雑な感情が混ざった涙だったと思います。

そんなぎりぎりの1ストローク差で残留した春季Cブロックでしたが、この1ストロークで残留したという事実が、この後に行われる秋季対抗戦にとって非常に大事な意味をもっていたことは、このとき誰も予想していませんでした。



残留が決まり号泣する鈴木女子主将（4年）



春季女子リーグ戦 レギュラーと応援組

[秋季男子Cブロック対抗戦] 9月3日～4日 東京ゴルフ倶楽部

対抗戦が行われる東京ゴルフ倶楽部は本校の選手にとって相性がよく、昨年もここ東京で3位となっていることから、降格を回避しながらあわよくば優勝も狙おうかと考えていた本対抗戦でありました。初日は376ストロークで5位、降格も考えられますが1位の富士大学にも6ストローク差と僅差で、優勝も狙える位置につけた状況です。

続いて行われた最終日は、東北学院大学が357ストロークという驚異的なスコアでプレーしたのに対し、本校は387と昨日より11ストローク悪く、順位は変わらず5位にて残留という結果になりました。残念な結果ではありましたが、セクションを行っている大学が多数を占める中、本校の選手は関連校や大学からはじめた学生であり、彼らが出した2日間合計763ストローク（5名平均スコア1R=76.3ストローク）は、昨年の秋季対抗戦で出した771ストロークを抜いて、本校にとっては過去最高のスコアであったと思います。

これにて2年連続で主将を行い、難しい部の運営を行ってくれた三崎が引退しますが、レギュラーの大部分が残ることから来季の対抗戦には希望をもって臨めることとなります。



高橋（2年）のティーショット



秋季男子対抗戦 レギュラーと応援組

[春季女子Cブロック対抗戦] 9月10日～11日 富士カントリークラブ

春季対抗戦では1ストローク差で降格を免れたので、本対抗戦においては優勝というよりはまずは残留をして、その上でチャンスがあれば優勝を狙いたいと考えておりました。

初日が終わると1位青山学院大学に7ストローク差で2位、東北学院大学が欠場していることから、優勝だけを目指して最終日は戦うこととなった次第です。

最終日は青山学院大学がスコアを崩す中、本校は安定したスコアでラウンドし、昨日より2ストローク良いスコアで見事逆転優勝、平成20年秋季対抗戦で優勝・昇格して以来、6年ぶりに女子がBブロックへ昇格いたしました。

今回、6年ぶりにBブロックへ昇格いたしました。春季に1ストローク差で残留出来たからこそ、この結果があったわけです。ゴルフの1打の大切さをあらためて感じるとともに、1打でも勝って残留できる時は残留した方が良くも当然ながら感じた次第です。

後日、OB・OGの皆さまによって祝勝会を開催していただきました。部員たちは予想以上の祝福を受け、自分たちが行った功績の大きさと、伝統校の部員であることの素晴らしさを再認識させられたに違いありません。

さて、前回は昇格した次の対抗戦ですぐに降格いたしました。今回はどうか1季でも長くBに残りたいと考えております。

今後ともご指導、ご声援の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



祝勝会でスピーチする高木（4年）



祝勝会に集まったOB・OGの皆様

## 平成 26 年度関東大学男子春季 C ブロック対抗戦

平成 26 年 5 月 20 日(火)～21 日(水) 於 万木城カントリークラブ 6,954yards Par72

1 日 18 ホール、2 日間計 36 ホール・ストロークプレー。8 人エントリー、6 人出場、上位 5 名のトータルスコアにより順位を決定

順位	大学名	1 日目	2 日目	TOTAL
1	山梨学院大学	358	382	740
2	東北学院大学	383	405	788
3	富士大学	382	414	796
4	東海大学	386	419	805
5	城西大学	387	427	814
6	立教大学	402	424	826
7	学習院大学	402	443	845
8	上智大学	417	443	860

個人別成績	1 日目			2 日目		
名前(学年)	OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL
三崎(4 年)	44	38	82	42	45	87
青木(3 年)	42	41	* 83	41	42	83
五十部(3 年)	43	39	82	42	41	83
大江(3 年)	41	41	82	45	47	* 92
杉中(3 年)						
高橋(2 年)	37	38	75	42	43	85
馬場(3 年)	41	40	81	45	41	86
松下(1 年)						
合計	206	196	402	212	212	424

上記の結果、山梨学院大学、B ブロック昇格。学習院大学と上智大学は、D ブロック降格。

## 平成 26 年度関東大学女子春季 C ブロック対抗戦

平成 26 年 6 月 4 日(水)～6 月 5 日(木) 於 フラッドシップカントリークラブ 5,435yards Par72

1 日 18 ホール 2 日間 36 ホールストロークプレー。5 人エントリー、4 人出場、上位 3 人のトータルスコアで順位を決定。

順位	大学名	1 日目	2 日目	TOTAL
1	富士大学	239	231	470
2	上智大学	243	258	501
3	大妻女子大学	259	244	503
4	青山学院大学	252	254	506
5	立教大学	252	258	510
6	学習院大学	255	262	517

個人別成績	1 日目			2 日目		
名前(学年)	OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL
森川(3 年)	38	41	79	38	41	79
日向(2 年)	44	46	90	47	44	91
高木(4 年)	46	49	* 95	51	44	95
鈴木(4 年)	46	40	86	50	46	* 96
内山(2 年)						
合計	128	127	255	136	129	265

上記の結果、富士大学は、B ブロック昇格。学習院大学は、D ブロック降格。

## 平成 26 年度関東大学男子秋季Cブロック対抗戦

平成 26 年 9 月 3 日(水)～4 日(木) 於 東京ゴルフ倶楽部 6630yards Par72

1 日 18 ホール、2 日間計 36 ホール・ストロークプレー。8 人エントリー、6 人出場、上位 5 名のトータルスコアにより順位を決定

順位	大学名	1 日目	2 日目	最終成績
1	東北学院大学	374	357	731
2	中央大学	373	370	743
3	東海大学	379	367	746
4	富士大学	370	379	749
5	立教大学	376	387	763
6	拓殖大学	375	389	764
7	城西大学	383	388	771
8	慶応義塾大学	392	383	775

個人別成績	1 日目			2 日目		
名前(学年)	OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL
三崎(4 年)	38	44	* 82	37	40	77
大江(3 年)	41	39	80			
高橋(2 年)	35	35	70	39	40	79
馬場(3 年)	41	40	81	37	38	75
杉中(3 年)	39	35	74	42	37	79
五十部(3 年)				39	40	* 79
木山(3 年)						
青木(3 年)	36	35	71	40	37	77
合計	192	184	376	195	192	387

上記の結果、東北学院大学は、Bブロック昇格。城西大学と慶応義塾大学は、Dブロック降格。

## 平成 26 年度関東大学女子秋季Cブロック対抗戦

平成 26 年 9 月 10 日(水)～11 日(木) 於 富士カントリークラブ 5833yards Par72

1 日 18 ホール 2 日間 36 ホール・ストロークプレー。4 人エントリー、3 人出場、上位 2 人のトータルスコアで順位を決定。

順位	大学名	1 日目	2 日目	TOTAL
1	立教大学	252	250	502
2	青山学院大学	245	267	512
3	大妻女子大学	255	261	516
4	上智大学	265	261	526
5	東洋英和女学院大学	260	279	539
欠場	東北学院大学			

個人別成績	1 日目			2 日目		
名前(学年)	OUT	IN	TOTAL	OUT	IN	TOTAL
湯浅(4 年)	42	41	83	42	39	81
森川(3 年)	40	39	79	39	40	79
高木(4 年)	48	48	* 96			
鈴木(4 年)	46	44	90	43	47	90
日向(2 年)				43	48	* 91
合計	128	124	252	124	126	250

上記の結果、立教大学が B ブロック昇格。欠場の東北学院大学は D ブロック降格。

平成 26 年度秋季ブロック別対抗戦最終順位

【男子】

Aブロック	
1位	東北福祉大学
2位	日本大学
3位	専修大学
4位	中央学院大学
5位	東京国際大学
6位	明治大学

Bブロック	
1位	早稲田大学
2位	山梨学院大学
3位	駒沢大学
4位	神奈川大学
5位	法政大学
6位	東北学院大学

Cブロック	
1位	日本体育大学
2位	中央大学
3位	東海大学
4位	富士大学
5位	立教大学
6位	拓殖大学
7位	学習院大学
8位	青山学院大学

Dブロック	
1位	城西大学
2位	慶應義塾大学
3位	成城大学
4位	上智大学
5位	東京大学
6位	玉川大学
7位	獨協大学
8位	東北大学

Eブロック	
1位	成蹊大学
2位	東日本国際大学
3位	明治学院大学
4位	芝浦工業大学
5位	明星大学
6位	帝京大学
7位	大東文化大学
8位	東洋大学

Fブロック	
1位	東京経済大学
2位	桜美林大学
3位	横浜国立大学
4位	東京農業大学
5位	一橋大学
6位	國學院大学
7位	横浜商科大学
8位	国士舘大学

【女子】

Aブロック	
1位	中央学院大学
2位	東北福祉大学
3位	明治大学
4位	専修大学
5位	早稲田大学
6位	日本大学

Bブロック	
1位	法政大学
2位	慶應義塾大学
3位	駒沢大学
4位	日本体育大学
5位	聖心女子大学
6位	立教大学

Cブロック	
1位	富士大学
2位	青山学院大学
3位	大妻女子大学
4位	上智大学
5位	東洋英和女学院大学
6位	東京国際大学

Dブロック	
1位	東北学院大学
2位	明治学院大学
3位	成城大学
4位	学習院大学
5位	玉川大学
6位	日本女子大学
7位	成蹊大学
8位	中央大学

## 平成26年度幹部挨拶

私が主将を務めさせて頂きました平成26年度は厳しい1年間となりました。

平成25年度とほぼ変わらないレギュラーメンバーで臨んだ対抗戦でしたが私の力不足もあり春季対抗戦では6位、秋季対抗戦では5位という結果に終わりました。近年はブロック毎のレベルも上がってきておりBブロックに昇格するには2日間で730ストローク、1人当たり平均73ストローク前後が求められるようになってきました。

このような厳しい状況下の中ですが、時代の流れからか部活動の環境も変化してきており近年は人数の大幅な増加、そして立教高校ゴルフ部出身者の入部に伴い、我が部も年々力を増してきております。部としての目標であったBブロックに昇格することは私達では叶いませんでしたが、今年からチームを引っ張っていく新主将の青木ならば必ずやBブロックに昇格できると確信しております。

最後になりますが2年間主将を務めるにあたり支えてくれた同期や後輩の皆、頼りない主将をサポートして下さった監督、OB、OGの皆様は謹んで御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援、ご指導の程宜しくお願い致します。



男子主将 三崎勝弘

私の昨年度の女子主将としての目標は、女子部員の技術の向上と、対抗戦でBブロックに昇格することでした。

女子部員の技術面についてですが、昨年度より男女合同練習を導入し、男子部員とともに練習をするという体制が整いました。その結果、男子部員からの技術指導を受けることができるようになり、女子部員全体での技術面の向上が見られるようになりました。

また、対抗戦の結果ですが、秋の対抗戦で見事にCブロック優勝を果たし、目標であったBブロック昇格を達成することができました。ご声援を頂き本当に有難うございました。

今年度は、さらに女子部員が増え、ますます活気あふれる部になっていくことと思います。チーム一丸となって切磋琢磨し合い、まずはBブロック残留を目指して欲しいと思います。

最後になりましたが、昨年度に多大なるご支援を頂きました監督並びにOB・OGの皆様方に謹んで御礼申し上げます。今後とも、後輩たちへの変わらぬご指導の程を宜しくお願い致します。



女子主将 鈴木將代

## 平成27年度幹部挨拶

この度、平成27年度主将を務めさせて頂くことになりました、青木友翼と申します。

昨年度は新体制で不安もありましたが、春季対抗戦では5位にてCブロックに残留、秋季対抗戦では、初日の段階で首位と7打差でスタートしたものの結果的には5位で残留となってしまいました。

本年度の目標の1つはBブロック昇格であります。本年度も、昨年度のレギュラー陣の多くが現役部員として残っているため、他校とは異なり戦力の大幅なダウンは一切ありません。長年の目標であるBブロック昇格を本年度こそ成し遂げたいと考えております。

また、もう1つの目標としては適切な部活の運営です。本年度は新入生が15人入部し、総勢46名の大所帯となりました。このような人数の運営には多くの問題が生じるかと思いますが、一つ一つを乗り越え、一段階上のゴルフ部へ生まれ替わっていきたいと思います。

最後になりますか、OB・OGのご支援があつてこそ、私達現役部員が活動できていることを今後とも絶対に忘れずに、日々努力を重ねて参りたいと思います。今後とも、ご指導、ご支援のほど宜しくお願い致します。



男子主将 青木友翼

この度、平成27年度立教大学体育会ゴルフ部女子主将を務めさせて頂くことになりました森川美沙です。

女子は昨年度、春季対抗戦においてCブロック残留、続く秋季対抗戦で念願のCブロック優勝、Bブロック昇格を果たしました。

当時のレギュラー5名のうち3名が卒部致しましたが、現役部員全員がその現実を自覚し、先輩方に追いつき追い越す勢いで日々の練習に励んでおります。

今年度は「来年度のスタートもBブロックで迎える」という目標を掲げております。6年ぶりにBブロック参加校として迎える平成27年度春季対抗戦は、自身に限界を定めることなく果敢かつ楽しくプレーするとともに、各々が「チーム」の一員であることを再認識する一戦にします。

最後になりますが、今年度も皆様のご期待に添えるよう尽力して参りますので、変わらぬ御指導と御声援を賜りますよう宜しくお願い致します。



女子主将 森川美沙

## OB会ゴルフ会

平成26年度は、11月15日（土）、千葉カントリー倶楽部・川間コースでOB・OG46名で開催されました。土曜日開催という事もあり、平成卒のOB・OGの参加も多く、楽しい1日となりました。

今年度より春と秋の2回開催を予定しておりますので、多くのOB・OGの皆様のご参加をお待ちしております。



### 個人成績表

順位	卒年	氏名(漢字)	グロス	HDCP	ネット	備考	順位	卒年	氏名(漢字)	グロス	HDCP	ネット	備考
優勝	平12年	遠藤 大介	80	9.6	70.4		21位	平24年	黒川 陽平	83	8.4	74.6	
準優勝	昭48年	浅井 隆	84	13.2	70.8		22位	昭50年	須藤 敏之	81	6.0	75.0	
3位	昭46年	宮坂 衛	88	16.8	71.2		23位	昭63年	青木 克益	87	12.0	75.0	
／	平10年	石渡 一郎	74	2.4	71.6	BG賞	24位	平20年	釣部 雅義	87	12.0	75.0	
4位	平14年	鈴木 康友	80	8.4	71.6		25位	昭52年	鈴木 正敏	80	4.8	75.2	
5位	昭49年	相沢 辰男	84	12.0	72.0		26位	平26年	旗 恵里佳	98	22.8	75.2	
6位	昭41年	田中 章夫	89	16.8	72.2		27位	昭45年	菅 真知	83	7.2	75.8	
7位	昭50年	宮下 治也	88	15.6	72.4	ラッキー7	28位	昭46年	山口 高	95	19.2	75.8	
8位	平14年	朝野 照章	94	21.6	72.4		29位	平01年	森山 奈美江	100	24.0	76.0	
9位	昭55年	海老原 寿人	75	2.4	72.6		30位	昭49年	大井田 雅威	86	9.6	76.4	当日賞
10位	昭58年	北口 博	81	8.4	72.6	飛び賞	31位	昭41年	古澤 正弘	91	14.4	76.6	
／	昭41年	佐野 誠子	86	13.2	72.8	LBG賞	32位	平02年	大西 しずか	103	26.4	76.6	
11位	昭49年	相澤 正	91	18.0	73.0		33位	平03年	小石 織江	97	20.4	76.6	
12位	平15年	小坂 徳郎	85	12.0	73.0		34位	平09年	川俣 雅昭	85	8.4	76.6	
13位	昭41年	後関 満之	88	14.4	73.6		35位	昭47年	稲川 一	88	10.8	77.2	
／	昭49年	瀧澤 光雄	76	2.4	73.6	SBG賞	36位	昭49年	泉 俊三	91	13.2	77.8	
14位	平25年	松永 昌広	94	20.4	73.6		37位	昭47年	永瀬 一雄	90	12.0	78.0	
15位	昭45年	原 篤	81	7.2	73.8	第15位	38位	平16年	島田 章子	96	18.0	78.0	
16位	昭51年	樫 秀和	80	6.0	74.0		39位	昭49年	平塚 徹夫	95	16.8	78.2	飛び賞
17位	平24年	友田 敦	86	12.0	74.0		40位	昭59年	布施 慈宣	98	19.2	78.8	
18位	昭41年	佐野 公胤	84	9.6	74.4		41位	昭52年	館野 雅子	107	27.6	79.4	
19位	昭49年	石井 定明	83	8.4	74.6		42位	平26年	大塚 麻子	108	27.6	80.4	BB賞
20位	昭53年	設楽 守廣	83	8.4	74.6	飛び賞	43位	平02年	林 智子	103	18.0	85.0	

## 立教大学体育会OB・OGクラブゴルフ大会

平成 26 年度は、8 月 25 日（月）に立教大学運動部 OB 会 26 部、108 名の参加者で開催されました。

毎年、狭山ゴルフ・クラブで開催されるこの大会には、ゴルフ部 OB 会が永久幹事として、会場の設定から賞品手配、ドロー表作成、当日の懇親会運営等を担っております。

競技結果は、団体戦で優勝がゴルフ部、準優勝は硬式野球部、第三位は器械体操部。

今年度も、8 月 24 日（月）に開催を予定しておりますので多数の OB 会員のご参加を期待しております。

### 団体選(ネット上位3名の合計)

順位	所属	人数	NET	順位	所属	人数	NET
優勝	ゴルフ部	8 名	215.2	15 位	剣道部	6 名	230.8
準優勝	硬式野球部	7 名	216.0	16 位	陸上競技部	4 名	232.6
3 位	器械体操部	3 名	218.2	17 位	ボート部	3 名	246.2
4 位	サッカー部	13 名	218.4	18 位	ヨット部	3 名	253.0
5 位	バレーボール部	5 名	218.4	19 位	重量挙げ部	3 名	290.2
6 位	テニス部	6 名	219.6		ボクシング部	2 名	
7 位	バドミントン部	4 名	221.6		ソフトテニス部	2 名	
8 位	スキー部	5 名	222.2		フェンシング部	2 名	
9 位	ラグビー部	3 名	226.0		日本拳法部	1 名	
10 位	レスリング部	5 名	226.0		相撲部	1 名	
11 位	空手部	4 名	226.6		アイスホッケー部	1 名	
12 位	バスケット部	5 名	227.0		洋弓部	1 名	
13 位	応援団	8 名	227.6	計	26 部	108 名	
14 位	卓球部	3 名	229.2				

### 個人戦(ネット順位)

順位	卒年	氏名	GRS	HDCP	NET
7 位	昭 49	瀧澤 光雄	76	4.8	71.2
8 位	昭 51	櫛 秀和	80	8.4	71.6
13 位	昭 45	菅 真知	88	15.6	72.4
15 位	昭 50	須藤 敏之	84	10.8	73.2
24 位	昭 46	宮坂 衛	92	18.0	74.0
28 位	昭 46	中島 敬夫	85	10.8	74.2
42 位	昭 58	北口 博	81	6.0	75.0
57 位	昭 48	浅井 隆	87	10.8	76.2

### 第36回関東八大学ゴルフ対抗戦

平成26年度は、10月21日（火）、我孫子ゴルフ倶楽部で77名の参加にて開催されました。幹事校は本校。団体戦では、慶応義塾大学が優勝、準優勝は明治大学。立教大学は、昨年と同様の第3位入賞となりました。

今年度は、上智大学が幹事校で10月20日（火）、大利根カントリークラブで開催を予定しておりますのでOB・OG会員のご協力をお願いいたします。

#### 団体戦

##### 上位6名のグロス合計

順位	学校名	グロス計	人数
優勝	慶応義塾大学	452	10名
準優勝	明治大学	457	9名
第3位	立教大学	460	10名
第4位	中央大学	469	11名
第5位	早稲田大学	481	7名
第6位	学習院大学	492	12名
第7位	法政大学	518	8名
第8位	上智大学	519	10名
合計			77名

#### 個人戦

##### ネット順位

順位	卒年	氏名	グロス	HDCP	ネット
3位	平14	鈴木 康友	75	5	70
4位	昭50	須藤 敏之	79	8	71
6位	昭63	川上 恭弘	73	2	71
12位	昭55	海老原 寿人	78	5	73
14位	昭49	瀧澤 光雄	77	3	74
26位	平15	小坂 徳郎	78	3	75
47位	昭50	宮下 治也	86	7	79
59位	昭58	北口 博	87	5	82
63位	昭63	青木 克益	86	3	83
69位	平16	長田 昌也	94	7	87

## 第13回 立教対抗戦

平成26年8月25日月曜日 千葉CC川間コースにおいて第13回立教対抗戦が行われました。今回も立教小学生から大学生までが集まり、過去最多の100名以上の参加者の中で行われました。

試合は6チームによる団体戦形式で行われ、小学生・中学生・高校生・大学生が一緒の組みでプレーするというオール立教で、和やかに行われました。

結果は、立教池袋高校が3年ぶり（高校単独では初めて）優勝いたしました。

1位	立教池袋高等学校	361ストローク
2位	立教大学体育会ゴルフ部 男子	373ストローク
3位	立教新座中学校・高等学校	409ストローク
4位	立教池袋中学校	423ストローク
5位	立教大学体育会ゴルフ部 女子	426ストローク
6位	立教小学校5年生・6年生	477ストローク

各チーム上位5名の合計スコアによる団体戦

最優秀選手 塚本 岳 70ストローク



朝の集合：各チームの紹介とチームキャプテンによる挨拶

## 立教小学校におけるスナッグゴルフ 活動報告

ゴルフ部ではOB・OGのボランティアと現役部員によって、立教小学校における体育授業の中でスナッグゴルフというツールを使用してゴルフを教えています。

また、授業で教えた後には選考会を開き、代表チーム（6名）を結成、土日を利用して定期的に代表練習会を行い、全国大会出場を目指して練習を行っています。

2014年度は東京都大会で優勝し全国大会に出場、続いて行われた全国大会では6位という好成績を上げることが出来ました。

授業を受けた小学生がゴルフに興味をもち、中学校や高校でゴルフ部へ入り、3～6年間中学・高校ゴルフ部で練習を重ね、最後は大学で体育会ゴルフ部を選択し、活躍してくれることを願っております。



立教小学校でのゴルフ授業の様子



6名の立教小学校代表選手

## 長期タイ合宿 総括レポート

毎年の課題であった2月の長期合宿でしたが、念願叶い、本年度よりタイでの開催となりました。日本の寒い気候とは異なり、連日25度、乾季の為雨もなく、最高の環境の中、1・2年生を中心に学生22名、OB・OG5名で17日間を過ごしました。

- 日時：2015年2月10日～26日（15泊17日）
- 場所：Naraihill Golf Resort & Country Club（ドンムアン空港から車で2時間30分）
- 航空会社：Air Asia（成田⇄ドンムアン 約6時間30分）
- 参加人数：22名（1年生13名・2年生8名・3年生1名）+途中参加者（3年生2名）  
+青木監督・森山OG・小坂OB・島田OG・佐藤（礼）OB

素晴らしいゴルフ環境（芝からのショートゲーム・十分なラウンド数・トレーニング施設・プール・夜間練習・キャディー付きでのラウンド）に加え、コース難易度（全長7,300yd・点在する池・コースマネジメント力）も高く、また生活のリズム（ゴルフ場オーナーの配慮）も一定であり、大きなトラブルもなく充実した17日間を過ごす事が出来ました。

来年以降に向けての課題はありますが、今後も継続していく予定です。学生達にはこの経験を活かし、試合で良い成績を出してくれる事を期待しています。



# 2015 年度（平成 27 年度）立教大学体育会ゴルフ部OB会総会

4 月 15 日（水） 於：セントポールズ会館

## 第 1 号議案： 2014 年度（平成 26 年度）事業報告

- 2014 年 4 月 18 日 OB会総会 及び 懇親パーティー 於：銀座鳳鳴春本店
- 4 月 28 日 OB会費口座振替日（4 月 13 日振替等案内発送）
- 5 月 27 日 OB会会報発行（OB会名簿改訂版同封）
- 6 月 03 日 体育会OBOGクラブ委員会 18:30～ 於：セントポールズ会館  
北口幹事出席
- 6 月 09 日 立教大学体育会OB・OGクラブ定期総会 18:30～ 於：太刀川記念館  
瀧澤副会長、須藤監事出席
- 6 月 10 日 関東八大学懇親会 19:00～ 於：ホテルモントレ銀座  
幹事校 立教ゴルフ部OB会  
合計 78 名参加（内立教OB会参加者数 11 名）
- 6 月 27 日 OB会幹事会 18:30～  
TKP 麹町駅前会議室 出席人数 17 名
- 7 月 29 日～ 男女合同夏季一般合宿（8 月 2 日まで） 於：ましこゴルフ倶楽部
- 8 月 25 日 立教大学体育会OB・OGクラブゴルフ大会 於：狭山ゴルフ・クラブ  
ゴルフ部OB会 8 名参加
- 9 月 20 日 立教大学体育会柔道部 100 周年記念祝賀会 18:30～  
於：ホテルメトロポリタン池袋 富士の間 浅井副会長出席
- 10 月 07 日 OB会幹事会 18:30～  
セントポールズ会館 すずかけ 出席人数 15 名
- 10 月 10 日 秋季女子Cブロック対抗戦祝勝会 19:00～  
於：ホテルメトロポリタン池袋 25 階 スカイバンケット ポラリス
- 10 月 21 日 第 36 回関東八大学ゴルフ対抗戦 於：我孫子ゴルフ倶楽部  
幹事校 立教ゴルフ部OB会
- 11 月 15 日 立教大学体育会ゴルフ部OB会ゴルフ大会 於：千葉CC 川間コース  
46 名参加
- 11 月 18 日 立教大学体育会OB・OGクラブ各部会長懇談会  
於：セントポールズ会館 菅会長出席
- 11 月 22 日 立教大学体育会モーターボート水上スキー部祝賀会 於：太刀川記念館  
第 59 回全日本学生選手権 男子・女子団体優勝 須藤監事出席
- 12 月 16 日 OB会幹事会 18:30～  
セントポールズ会館 芙蓉 出席人数 16 名
- 2015 年 1 月 17 日 立教大学体育会総会、OB・OGクラブ合同祝勝激励会  
野口幹事、鈴木（正）幹事出席
- 1 月 28 日 中央学院大学体育会ゴルフ部優勝祝賀会 於：日本外国特派員協会  
青木監督出席

- 2月10～26日 男女合同春季海外合宿 於：タイ王国  
Naraihill Golf Resort & Country Club
- 2月26日 学年幹事会 於：セントポールズ会館
- 2月28日 立教大学体育会アメリカンフットボール部創部80周年記念祝賀会  
於：ホテルメトロポリタン池袋 浅井副会長出席
- 3月7～11日 男女合同春季一般合宿 於：ましこゴルフ倶楽部
- 3月12日 OB会幹事会 18:30～ 於：セントポールズ会館

第2号議案： 2014年度（平成26年度）収支決算報告

第3号議案： 2015年度（平成27年度）事業計画

- 2015年 4月15日 総会及び懇親パーティー 於：セントポールズ会館
- 4月27日 会費口座振替日（4月13日振替等案内発送）
- 5月16日 春季ゴルフ会 於：富士カントリークラブ
- 5月29日 会報発行
- 6月03日 幹事会 18:30～ 於：セントポールズ会館
- 6月08日 立教大学体育会OB・OGクラブ定期総会 於：太刀川記念館
- 6月10日 関東八大学懇親会 19:00～ 於：ホテルモントレ銀座
- 8月1～5日 男女合同夏季一般合宿 於：ましこゴルフ倶楽部
- 8月24日 立教大学体育会OB・OGクラブゴルフ大会 於：狭山ゴルフ・クラブ
- 9月09日 幹事会 18:30～ 於：セントポールズ会館
- 10月20日 第37回関東八大学ゴルフ対抗戦 於：大利根カントリークラブ
- 10月28日 学年幹事会 19:00～ 於：セントポールズ会館
- 11月 立教大学体育会OB・OGクラブ各部会長懇談会
- 11月 秋季ゴルフ会
- 12月09日 幹事会 18:30～ 於：セントポールズ会館
- 2016年 1月 立教大学体育会総会、OB・OGクラブ合同祝勝激励会
- 2月 男女合同春季海外合宿 於：タイ王国  
Naraihill Golf Resort & Country Club
- 3月 男女合同春季一般合宿
- 3月16日 幹事会 18:30～ 於：セントポールズ会館

第4号議案： 2015年度（平成27年度）収支予算

以 上

## OB会事務局からのお知らせ

### 1 OB会名簿追加・変更について

OB会名簿は3年ごとに発行しますが、その間に新規・追加加入又は住所等変更がある場合は別紙のとおり「OB会名簿新規・変更等」を作成のうえOB会報へ同封しております。

お手元のOB会名簿へ追加保管をお願いします。

なお、住所等の変更があれば速やかに下記事務局宛にご連絡下さい。

また、OB会からの案内資料等が返送された場合、事務局から同期OB会員又は学年幹事へ移転先をお尋ねしますのでご協力の程宜しくをお願いします。

### 2 本件のお問い合わせ先（事務局）

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 3-22-17-804 山口 高（昭和46年卒）

携帯 080-3422-1949 FAX 03-3307-1861

e-mail: rokapark3307@yahoo.co.jp

\*\*\*\*\*

平成27年度立教大学体育会ゴルフ部OB会 会報

発行者：立教大学体育会ゴルフ部OB会

事務局：東京都豊島区西池袋三丁目 立教大学内

発行人：菅 真知 編集人：山口 高、青木 克益、小坂 徳郎、島田 章子

<http://www2.odn.ne.jp/rikkyo-golf/>

（立教大学体育会ゴルフ部ウェブサイトにて、ゴルフ部の最新情報をご覧ください。）